

日能研		4年							
		算数							
学習内容		4回 四則混合計算 5回 □を使った式 6回 四則混合逆算							
家庭学習 ポイント		3月も2月に続いて整数計算が続くので、内容的にはそれほど難解な問題がたくさん出てくるわけではありません。春休みくらいまでを目処に、家庭学習のリズムをゆっくりと作り上げていきましょう。そうすることで、今後難しくなった時に学習を消化しきれなくなる可能性が低くなります。計算は暗算で頭の中だけでやらず、しっかり書いて計算する習慣はついてきたでしょうか。このような「学習の型」をしっかり身につけさせてあげるのが、4年生の大きな目標になります。4回「四則混合計算」では「×・÷」と「+・-」の混ざった計算などを学習します。ついつい「計算しやすいところから」にならないよう「×・÷」優先であることを徹底しましょう。また5回「□を使った式」6回「四則混合逆算」も重要単元です。単純な式なら逆算を間違わずにできますが、式が長くなるとミスが多くなります。長い式の逆算では、「□の数値がわかっていたらどの順番で計算するか」をまず書き込み、それを逆からさかのぼるようにしましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	計算の順序を守って計算できていますか？	チェック						
	解決策	ついつい「計算しやすいところから」にならないよう、順序を守って計算しましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	長い式の逆算では「□の数値がわかっていたらどの順番で計算するか」を書き込んでいますか？	チェック						
	解決策	必ず書いてそれを逆にたどっていく習慣をつけましょう	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	塾から帰ったら、その日のうちに短時間でも復習ができますか？	チェック						
	解決策	「今日はどんなことを習った？」と口頭で答えさせるだけでも効果があります	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	土日にはお子さんが自由に使える時間がたっぷりありますか？	チェック						
	解決策	4年生のうちは「たっぷり」がいいですね	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	何曜日に何をするか、学習サイクルができてきましたか？	チェック						
	解決策	育成テスト、公開模試も含め、うまく回るサイクルを考えていきましょう	<input type="checkbox"/>						
日能研		4年							
		国語							
学習内容		4回 題名と結論 5回 中心文となるもの 6回 場面をつくる要素							
家庭学習 ポイント		5回まで、説明文が続きます。読み方や要点の見つけ方など、読解の基本を習得する段階です。4回では題名からわかること、また結論の示されている部分を探します。結論は文の最初や最後に書かれていることが多く、「したがって」「このように」「つまり」といった接続詞もヒントになりますね。第5回では「中心文」を見つけ出す練習をしていきます。中心文とは各段落でもっとも重要なことがらが書かれている文で、中心文を短くまとめたものが段落の「要点」です。各段落の「要点」をつなぎ合わせていくと、文章全体の「要約」ができますね。問題を解いたら、たとえ正解でも、どうしてそうなったか、なぜ他の選択肢ではいけないのかを考えるクセを4年生のうちにつけましょう。この習慣がは、高学年で問題の難度が上がった際にこそ有効になってきます。第6回からは物語文に入っていきます。物語文の読解で大きなポイントになるのは、情景描写や場面の変化によって登場人物の心情が描写されているのを読み取ることですね。練習していきましょう。							
課題の把握と解決策	チェック1	説明文の結論を正しく見つけ出せていますか？	チェック						
	解決策	文章の最初や最後に書かれていることが多いことを知っておくとよいですね	<input type="checkbox"/>						
	チェック2	段落の「中心文」を見つけ出すことができていますか？	チェック						
	解決策	具体例や詳しい説明、理由などを削ぎ落としていくと見えてきますね	<input type="checkbox"/>						
	チェック3	つねに「答えの根拠」を説明できる学習ができますか	チェック						
	解決策	高学年での失速を防ぐためにも大切なことです	<input type="checkbox"/>						
	チェック4	授業だけでなく語彙を増やす仕組みをつくっていますか？	チェック						
	解決策	ご家庭の会話もそのツールの一つですね	<input type="checkbox"/>						
	チェック5	うまく回る4年生の学習サイクルができてきましたか？	チェック						
	解決策	春休み前に一度振り返りの機会を持ちたいですね	<input type="checkbox"/>						

日能研		4年					
		理科					
学習内容		2回 動物の仲間分け 3回 植物の生き方					
家庭学習 ポイント		3月は「動物の仲間分け」「植物の生き方」について学習します。動物の仲間分けについては、セキツイ動物と無セキツイ動物について整理しておく必要があります。セキツイ動物については魚類・両生類・爬虫類・鳥類・哺乳類について、体温（変温か一定か）、増え方（卵で増えるか子を生むか）、呼吸（えら呼吸か肺呼吸か）などを軸に整理しましょう。無セキツイ動物については、1回すでにこん虫（昆虫類）を学習しましたが、甲殻類（エビやカニなど）、クモ・サソリ類（クモやサソリ、ダニなど）との共通点（足に節がある=節足動物）と違う点（足の数や目のつくりなど）を押さえるといいですね。上記とは別に「軟體動物」といったなかま（イカやタコ、貝など）もあるといった整理が、お子さんの中ででき上がっていると素晴らしいですね。「植物の生き方」では、まずは種子から発芽し、光合成をしながら成長し、花が咲いて果実ができる、種子にもどるという一年の流れを押さえましょう。その上で細かい知識をつけるとよいでしょう（4回以降の内容になります）。					
課題の把握 と解決 策	チェック1	分類を間違いやすいセキツイ動物について、正しい知識がついていますか？	チェック				
	解決策	ペンギン=空を飛ばないけど鳥類、コウモリ=空を飛ぶけど哺乳類など	<input type="checkbox"/>				
	チェック2	分類を間違いやすい無セキツイ動物について、正しい知識がついていますか？	チェック				
	解決策	ミジンコ=プランクトンだけど甲殻類、ダンゴムシ=多足類みたいだけど甲殻類など	<input type="checkbox"/>				
	チェック3	テキストだけでなく、写真や動画を学習に活用していますか？	チェック				
	解決策	特に生物分野は「映像で見たことがある」が記憶するのに役立ちます	<input type="checkbox"/>				
	チェック4	植物の一生のサイクルが様々であることを経験上しっていますか？	チェック				
	解決策	アサガオのように1年で1回のサイクルが終わるもの、他に何年も生きるものもありますね	<input type="checkbox"/>				
	チェック5	むやみに宿題の繰り返しをしていませんか？	チェック				
	解決策	ゆったりと進む日能研のカリキュラムだからこそ、調べ学習などにも時間を使いましょう	<input type="checkbox"/>				
日能研		4年					
		社会					
学習内容		2回 等高線からわかる地形のようす 3回 山地が多い国、日本					
家庭学習 ポイント		第2回では第1回で学んだ「地形図と地図記号」の知識に「等高線」を絡ませ、地図の読み取りを完全に理解できるように学習していきます。第3~5回では全国の「山地・山脈」「川」「平地」について学習し、第6回では、特徴のある「海岸」について学習します。地図記号と同じように「山地・山脈・川・平地」などは、教科書を見ると、とても細かいところまで記載されており、「こんなに多く覚えるのは無理」と感じてしまいがちです。しっかりと「覚える優先順位」をつけて学習することが大切です。まずは日本の国土の3分の2は山地であること、傾斜が急で険しい山地が多いことなどをしっかり理解しましょう。また山地（=いくつかの山が集まったもの）、山脈（=山が集まり、帯状に伸びているもの）というイメージもしっかり持っておきたいですね。「日本の屋根」と呼ばれる日本アルプスあたりから押さえていくとよいでしょう。第8回くらいから地方別地理の学習で詳細を学んでいきますが、それまでにアウトラインを押さえておくというイメージで、立体日本地図などを活用してみるのもいいと思います。					
課題の把握 と解決 策	チェック1	「丸覚え」ではなくできるだけ因果関係や関連、流れなどから記憶していますか？	チェック				
	解決策	いきなり山地山脈を覚えようとするのではなく、まずは日本を俯瞰してみましょう	<input type="checkbox"/>				
	チェック2	「日本アルプス」が答えられますか？	チェック				
	解決策	飛騨山脈=北アルプス、木曽山脈=中央アルプス、赤石山脈=南アルプス 地図で探してみましょう	<input type="checkbox"/>				
	チェック3	多くの日本の山がどの奥にできたかを知っていますか？	チェック				
	解決策	火山活動出できたものが多く、桜島や阿蘇山が今も活動中なのは有名ですね	<input type="checkbox"/>				
	チェック4	等高線から地形のだいたいの様子が想像できますか？	チェック				
	解決策	等高線が混み合っている=短い距離で高低差が大きい=険しい、傾きが急 ですね	<input type="checkbox"/>				
	チェック5	4年生の学習サイクルができてきましたか？	チェック				
	解決策	隔週の育成テスト、隔月の公開模試も含めて学習サイクルを作り上げていきましょう	<input type="checkbox"/>				